

エコアクション21 環境活動レポート

2020年度版



(2020年4月～2021年3月)

2021年 4月 2日 発行

HO-MEI 豊盟工業株式会社

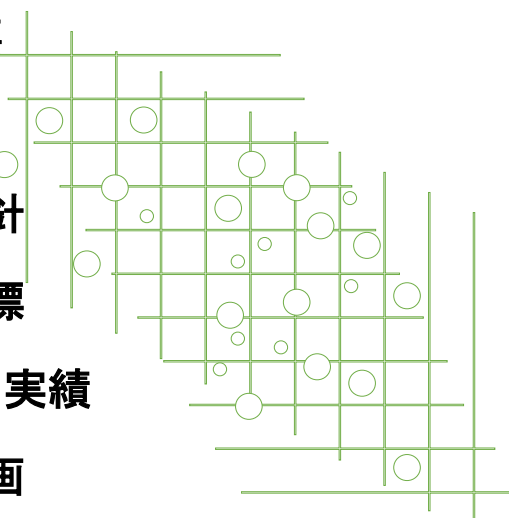


目

次



- 1.組織の概要
- 2.実施体制
- 3.環境経営方針
- 4.環境経営目標
- 5.環境経営目標の実績
- 6.環境経営計画



6-1 環境経営目標及び環境経営計画実績・取組結果とその評価,
並びに次年度環境経営目標及び環境経営計画

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに
違反、訴訟等の有無

8.代表者による全体評価と見直しの結果



1 組織の概要

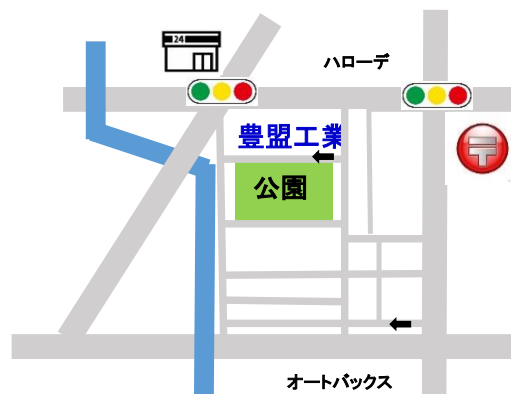
- (1) 事業者名
氏名 豊盟工業株式会社
代表取締役 山崎 健
- (2) 所在地 本社 〒814-0123 福岡県福岡市城南区長尾3-21-38
資材置場 〒811-1353 福岡県福岡市南区柏原



- (3) 環境管理責任者 専務取締役 薦田

連絡先 TEL 092-561-8371

- (4) 事業の概要
(対象活動) 管工事業、水道施設工事業
福岡県知事 許可 (特-23)第30070号



- (5) 事業の規模

区分	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
売上高	百万円	701	656	774	745	1,035
従業員	人	21	18	18	18	20
床面積	m ²	133.7	133.7	133.7	133.7	133.7

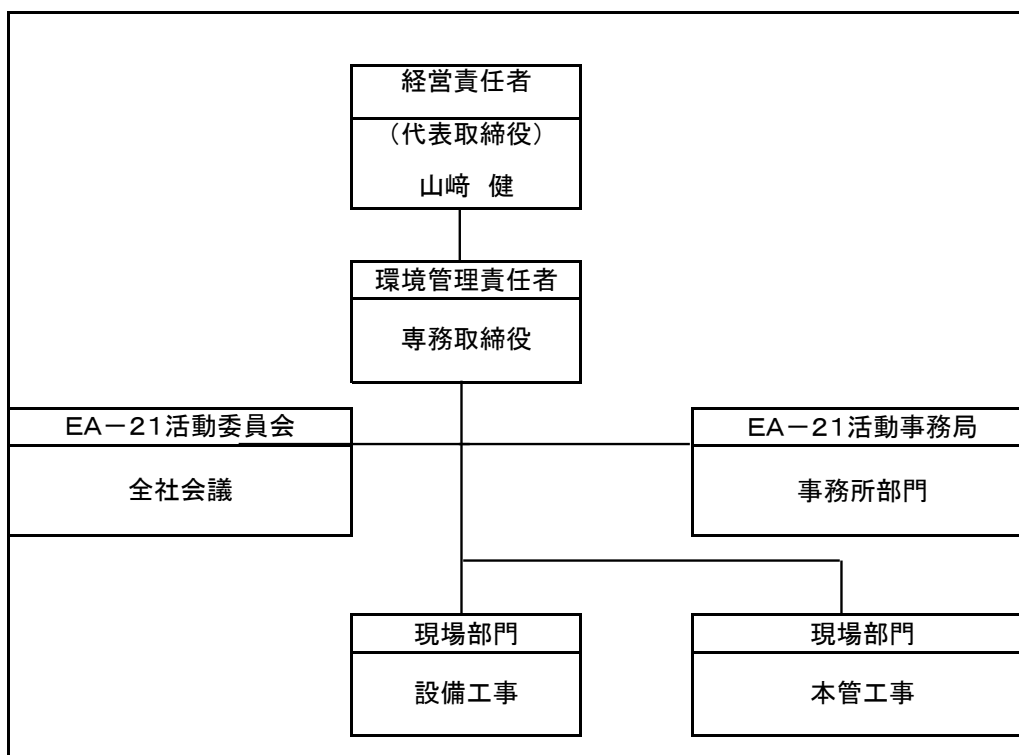
年度: 4月～翌年3月

- (6) 認証・登録の対象範囲

- ① 対象組織
本社、資材置場
- ② 対象活動
管工事業、水道施設工事業
- ③ 対象外組織
なし(全組織、全活動を対象とする。)



2.実施体制



< 環境管理組織における機能 >

経営責任者

- ①環境経営全般に対する責任と権限
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③全体の評価と見直し
- ④実施体制の構築
- ⑤経営資源(人・物・金等)の準備・提供

環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施
- ④経営者への進捗報告

EA-21活動事務局

- ①各部門のデータのまとめ
- ②活動計画の予実績管理
- ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤法規制最新版管理
- ⑥文書・記録の管理

各部門

- ①環境計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③問題点の把握と是正の実施
- ④推進会議の出席
- ⑤従業員教育



3. 環境経営方針



1. 環境理念

当社は「地域社会のニーズに合わせた環境づくり、地域社会への貢献」と言う社是の理念に基づき、環境に配慮できる企業として、積極的に継続的改善し環境保全活動に取り組めます。

2. 環境経営方針

1. 大変厳しい財政制約の中、高度成長期に蓄積された社会資本の老朽化も進み環境や景観、少子高齢化への対応が求められている。このような社会情勢において、施設の維持・改修や長寿命化にシフトしていることを視野に入れた受注、若手技術者技能者の入職と定着促進の向上を図ることで企業力を高める。

2. 当社の事業活動によって生じる環境影響について、次の視点から適切な環境目的及び環境経営目標を設定して活動する。環境目的及び環境経営目標は定期的に見直しを行い、継続的改善の向上を図ることで企業力を高める。

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
(電力使用量の削減、自動車燃費の向上)
- (2) 廃棄物の分別の徹底と排出量の削減
(建設廃材の分別の徹底と削減)
- (3) 総排水量削減
(上水使用量の削減)
- (4) グリーン購入の推進
(グリーン購入の拡大)
- (5) 地域社会への貢献
(事務所及び建設現場周辺の清掃)
- (6) 関係する環境関連法規等を遵守する
- (7) 施工時の環境配慮

3. 環境関連法規、協定を遵守する。

4. 環境経営方針は全従業員に周知し、社外へ公開する。



制定日 2015年10月 1日
改訂日 2020年 4月 1日



豊盟工業株式会社

代表取締役 山崎 健

2020年度 4.環境経営目標

1) 中期環境経営目標

環境目標	サイト区分	単位	基準年	目標			
			2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	
			2015.4.1～2016.3.31	2020.4.1～2021.3.31	2021.4.1～2022.3.31	2021.4.1～2022.3.31	
1 二酸化炭素排出量の削減	事務所 + 現場	kg-CO ₂	98,509	92,598 (△6%)	91,613 (△7%)	91,121 (△7.5%)	
	①電力使用量の削減	事務所	kWh	9,033	8,491 (△6%)	8,401 (△7%)	8,356 (△7.5%)
	②ガソリン使用量の削減	事務所	L	3,871	3,638 (△6%)	3,600 (△7%)	3,580 (△7.5%)
		現場	L	18,209	17,117 (△6%)	16,935 (△7%)	16,844 (△7.5%)
	③軽油使用量の削減	現場	L	17,032	16,010 (△6%)	15,839 (△7%)	15,754 (△7.5%)
2 廃棄物排出量	事務所	①一般廃棄物排出量の削減	kg	890	837	828	823
		リサイクル率の推進	%	69%(2020年度基準)	69	70	71
	現場	②建設産業廃棄物排出量の把握	t	921	排出量を把握(年度毎の排出量記録)		
		リサイクル率の推進	%	100	100	100	100
3 総排水量の削減	事務所 + 現場	m ³	149	140 (△6%)	139 (△7%)	138 (△7.5%)	
4 グリーン購入の配慮			把握していない	配慮している	配慮する	配慮する	
5 社会への貢献			把握していない	配慮している	配慮する	配慮する	
6 施工時の環境配慮			〃	配慮している	配慮する	配慮する	

備考 : ()内は、2015年度の実績をベースとした削減率を示す。

- ・二酸化炭素排出量算定に用いた購入電力のCO₂ 排出係数は、九州電力(株)の2019年度調整後排出係数(0.370kg-CO₂/kWh)を用いた。
- ・化学物質については、自社での使用がないため目標から除外した。

5.環境目標の実績

- ・2020年度における環境目標達成状況は、以下の通りです。
- ・設定した6つの環境目標のうち、(1)を除いて、目標が達成できました。

環境目標	サイト区分	単位	基準年	2020年度		目標達成率	目標達成の判定	
			2015年度	2020.4.1～2021.3.31				
			2014.4.1～2015.3.31	目標	実績			
(1) ①二酸化炭素排出量の削減	事務所 + 現場	kg-CO ₂	98,509	92,598	72,104	128%	○	
	①電力使用量の削減	事務所	kWh	9,033	8,491	9,004	94%	△
		事務所	L	3,871	3,638	1,891	192%	○
		現場	○	17,032	16,010	14,154	113%	○
2 廃棄物排出量	事務所	①一般廃棄物排出量の把握	kg	890	837	628	133%	○
		リサイクル率の推進	%	69% (2020年度基準)	69	69	100%	○
	現場	②建設産業廃棄物排出量の把握	t	921	実績把握	792	—	—
		リサイクル率の推進	%	100	100	100	100%	○
(3) 総排水量の削減	事務所 + 現場	m ³	149	140	118	119%	○	
(4) グリーン購入の配慮			把握していない	配慮する	配慮している	100%	○	
(5) 社会への貢献			把握していない	配慮する	配慮している	100%	○	
(6) 施工時の環境配慮			把握していない	配慮する	配慮している	100%	○	

備考

- ・目標は、2015年度実績の3ヶ月分に削減率を乗じて設定した。
- ・二酸化炭素排出量算定に用いた購入電力のCO₂ 排出係数は、九州電力(株)の2019年度調整後排出係数(0.370kg-CO₂/kWh)を用いた。
- ・化学物質については、自社での使用がないため目標から除外した。

※事務所の電力使用量に資材置場分を含む。

・目標達成判定区分 ○: 目標達成率 100%以上 △: 90%以上 100%未満 ×: 90%未満

6. 環境経営計画

2020年度

活動目標	取組目標	活動手段	対象	日程	責任者
二酸化炭素 排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量 削減基準年度2015年度の 6%削減 2020年度目標値 8,491 (kwh)	夏季エアコン28℃(開始時期を遅らす) 冬季エアコン20℃ 定期的なエアコン清掃 不必要な残業をしない 扇風器併用 待機電源無し	○で囲む: 事務所 (○) 現場 ()	通年	専務 事務所
	ガソリンの二酸化炭素排出量 削減基準年度2015年度の 6%削減 2020年度目標値 3,638 (L)事務所 17,117 (L)現場	車両別に使用料・走行距離・燃費を把握する。 買換えのときは、低燃費車に買換えを促進 アイドリングストップ エコドライブ推進 オイル交換、空気圧等をこまめにチェック	事務所 (○) 現場 (○)	通年	専務 事務所・現場
	軽油の二酸化炭素排出量 削減基準年度2015年度の 6%削減 2020年度目標値 16,010 (L)現場	車両別に使用料・走行距離・燃費を把握する。 不要なものを車から降ろす。 アイドリングストップ 最短の移動経路を検討し、消費削減する。 オイル交換、空気圧等の点検日を設ける。	事務所 () 現場 (○)	通年	専務 現場
廃棄物排出量 の削減	一般廃棄物の排出量削減 削減基準年度2015年度の 6%削減 2020年度目標値 837 (kg)事務所	分別によるリサイクルの推進 リサイクルのトナーを利用 紙での保管を極力控えてパソコンに保存する。 コピ用紙の裏紙利用	事務所 (○) 現場 ()	通年	専務 事務所
	建築産業廃棄物の排出量削減 20年度目標値 実績把握 (t)現場	分別によるリサイクルの推進 転用可能な資材の活用 マニフェストをもとに産廃物の適正な処理をする。	事務所 (-) 現場 (○)	発生毎	専務 現場
水使用量の削減	建築産業廃棄物の排出量削減 削減基準年度15年度の 6%削減 20年度目標値 140 (m)事務所	節水コマの取付 洗車の回数を必要最小限に留める。 植木の水やりには活水器の排水を利用する。	事務所 (○)現場 (-)	通年	専務 事務所
グリーン購入の促進	グリーン再生製品・ 再生建設資機材の推進	環境ラベル表示製品を優先的に購入する。 再生建設資機材の使用に努める。	事務所 (○) 現場 (○)	工事毎	専務 事務所・現場
地域社会への貢献	事務所及び 建設現場周辺の清掃	事務所前の道路の清掃 地域での環境活動に積極的に参加する。 現場廻りの清掃に努める。	事務所 (○)現場 (○)	毎月1回	専務 事務所・現場
施工時の環境配慮	工程時間削減・環境負荷削減の工夫	工程管理表の有効活用 加工時間短縮の工夫・検証	事務所 ()現場 (○)	随時	専務 現場

6-1. 環境経営目標及び環境経営計画実績・取組結果とその評価、
並びに次年度環境経営目標及び環境経営計画
2020年(2020年4月～2021年3月)1年間

2021年度の環境目標は中期環境目標の2021年度に記載している。			
	取組項目	達成状況	評価と次年度の取組内容
二酸化炭素排出の削減	電力使用量(基準年度より6%削減) 夏季エアコン28℃(開始時期を遅らす) 冬季エアコン20℃ 定期的なエアコン清掃 不必要な残業をしない 扇風器併用 待機電源無し	△	夏場の猛暑、冬場の低温等の気象が続き エアコンの使用量が増えて、目標達成できなかった。 小まめな温度設定のチェック、変更、 スイッチのオン・オフで対応してゆく。
	ガソリン使用量(基準年度より6%削減) 車両別に使用料・走行距離・燃費を把握する。 買換えのときは、低燃費車に買換えを促進 アイドリングストップ エコドライブ推進 オイル交換、空気圧等をこまめにチェック	○	今期は現場も多かったが 社員の意識向上により目標達成できた。 次年度も目標達成できるように取り組む。 車両別に走行距離と燃費を算出し公表 することでより意識が高まり引き続き継続する。
	軽油使用量(基準年度より6%削減) 車両別に使用料・走行距離・燃費を把握する。 不要なものを車から降ろす。 アイドリングストップ 最短の移動経路を検討し、消費削減する。 オイル交換、空気圧等の点検日を設ける。	○	今期は現場も多かったが 社員の意識向上により目標達成できた。 次年度も目標達成できるように取り組む。 車両別に走行距離と燃費を算出し公表 することでより意識が高まり引き続き継続する。
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物再資源化率(基準年度より6%削減) 分別によるリサイクルの推進 リサイクルのトナーを利用 紙での保管を極力控えてパソコンに保存する。 コピー用紙の裏紙利用	○	事務所の一般廃棄物の削減は、 社員の意識向上により目標達成できた。 資料などもメールデータでの送受信が多くなった。 次年度以降も継続していく。
	産業廃棄物再資源化率(基準年度より6%削減) 分別によるリサイクルの推進 転用可能な資材の活用 マニフェストをもとに産廃物の適正な処理をする。	○	社員の意識向上により目標達成できた。 次年度以降も継続していく。
	水使用量の削減(基準年度より6%削減) 節水コマの取付 洗車の回数を必要最小限に留める。 植木の水やりには活水器の排水を利用する。	○	節水便器の使用により水使用量が減った 次年度以降も継続して、水使用量のチェックを 欠かさないようにする。
	グリーン再生製品・再生建設資機材の推進 環境ラベル表示製品を優先的に購入する。 再生建設資機材の使用に努める。	○	目標達成のため、社員が意識向上に努めている。 次年度以降も継続していく。
	事務所及び建設現場周辺の清掃 事務所前の道路の清掃 地域での環境活動に積極的に参加する。 現場廻りの清掃に努める。	○	社員の意識向上により清掃・美化活動は目標達成できた 次年度以降も継続していく。
	施工時の環境配慮 工程管理表の有効活用 加工時間短縮の工夫・検証	○	目標達成のため、社員が意識向上に努めている。 次年度以降も継続していく。

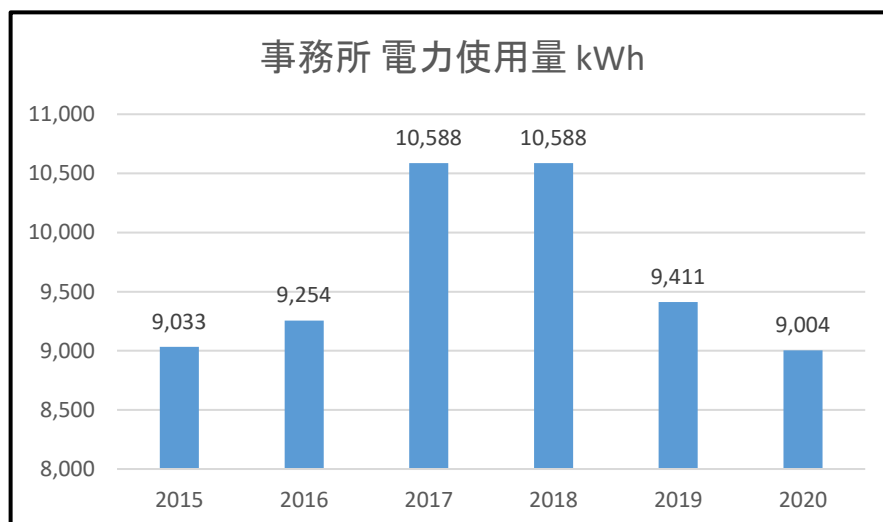
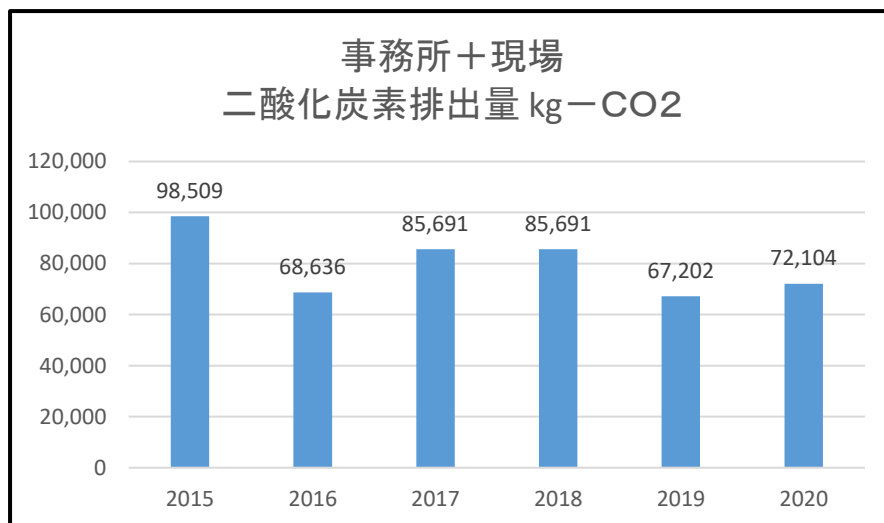
・目標達成判定区分 ○:目標達成率 100%以上 △: 90%以上 100%未満 ×: 90%未満

6-1. 環境経営目標及び環境経営計画実績・取組結果とその評価、
並びに次年度環境経営目標及び環境経営計画

2020年(2020年4月～2021年3月)1年間

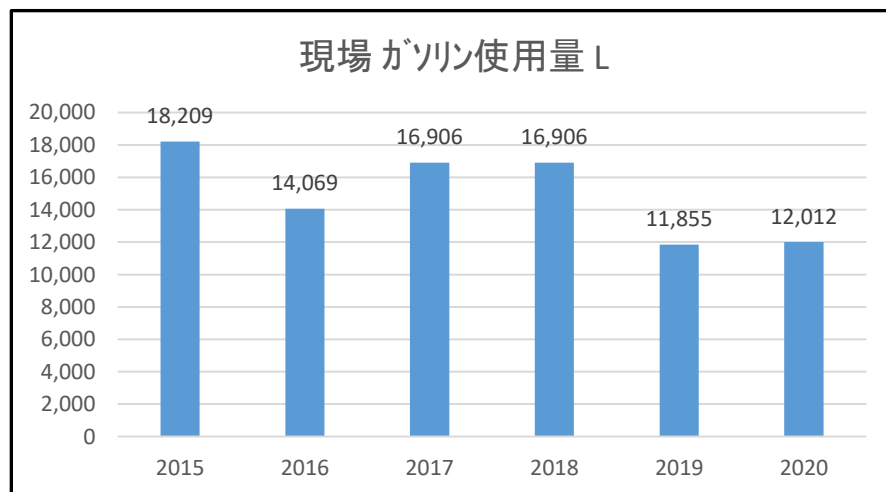
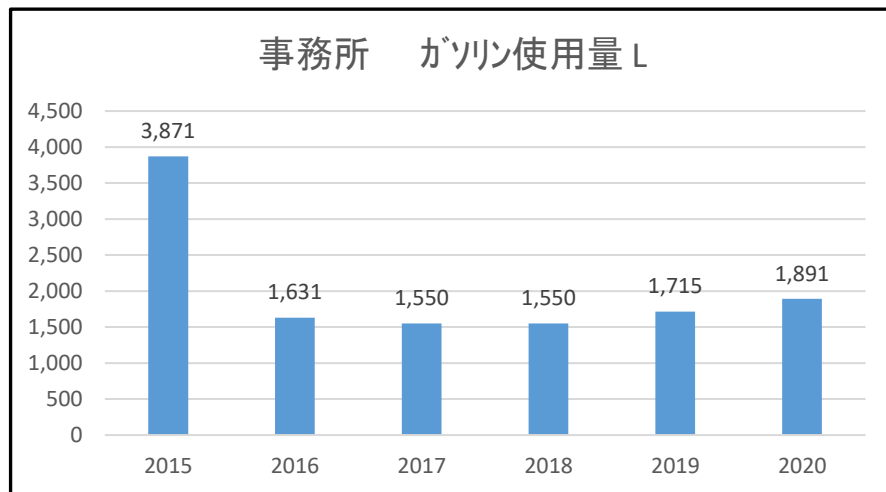
	取組項目	達成状況	評価と次年度の取組内容
二酸化炭素排出の削減	電力使用量(基準年度より6%削減) 夏季エアコン28℃(開始時期を遅らす) 冬季エアコン20℃ 定期的なエアコン清掃 不必要な残業をしない 扇風機併用 待機電源無し	○	夏場の猛暑、冬場の低温等の気象が続き エアコンの使用量が増えて、目標達成できなかった。 小まめな温度設定のチェック、変更、 スイッチのオン・オフで対応してゆく。

・目標達成判定区分 ○: 目標達成率 100%以上 △: 90%以上 100%未満 ×: 90%未満



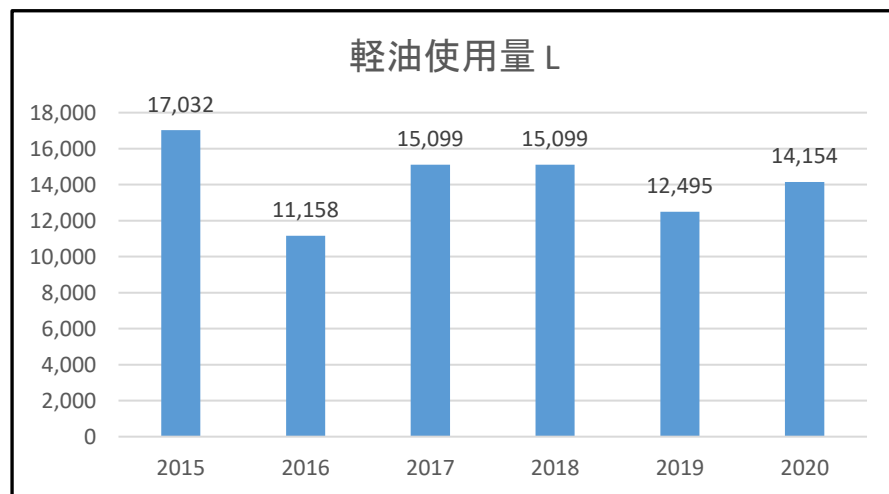
	取組項目	達成状況	評価と次年度の取組内容
二酸化炭素排出の削減	ガソリン使用量(基準年度より6%削減) 車両別に使用料・走行距離・燃費を把握する。 買換えのときは、低燃費車に買換えを促進 アイドリングストップ エコドライブ推進 オイル交換、空気圧等をこまめにチェック	○	今期は現場も多かったが 社員の意識向上により目標達成できた。 次年度も目標達成できるように取り組む。 車両別に走行距離と燃費を算出し公表 することでより意識が高まり引き続き継続する。

・目標達成判定区分 ○: 目標達成率 100%以上 △: 90%以上 100%未満 ×: 90%未満



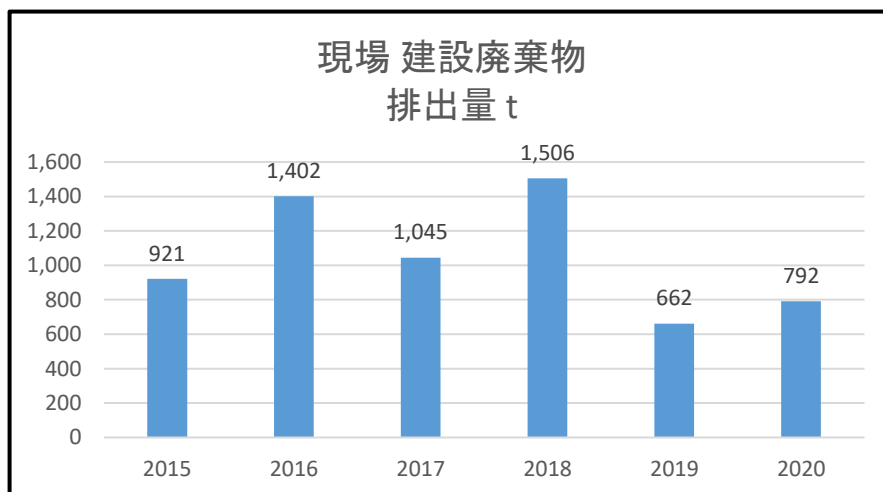
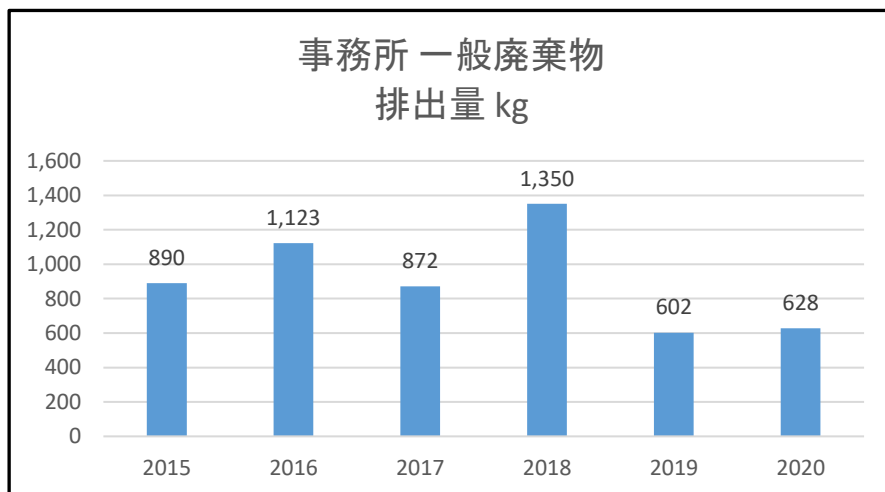
	取組項目	達成状況	評価と次年度の取組内容
二酸化炭素排出の削減	軽油使用量(基準年度より6%削減) 車両別に使用料・走行距離・燃費を把握する。 アイドリングストップ 最短の移動経路を検討し、消費削減する。 オイル交換、空気圧等の点検日を設ける。	○	今期は現場も多かったが 社員の意識向上により目標達成できた。 次年度も目標達成できるように取り組む。 車両別に走行距離と燃費を算出し公表 することでより意識が高まり引き続き継続する。

・目標達成判定区分 ○: 目標達成率 100%以上 △: 90%以上 100%未満 ×: 90%未満



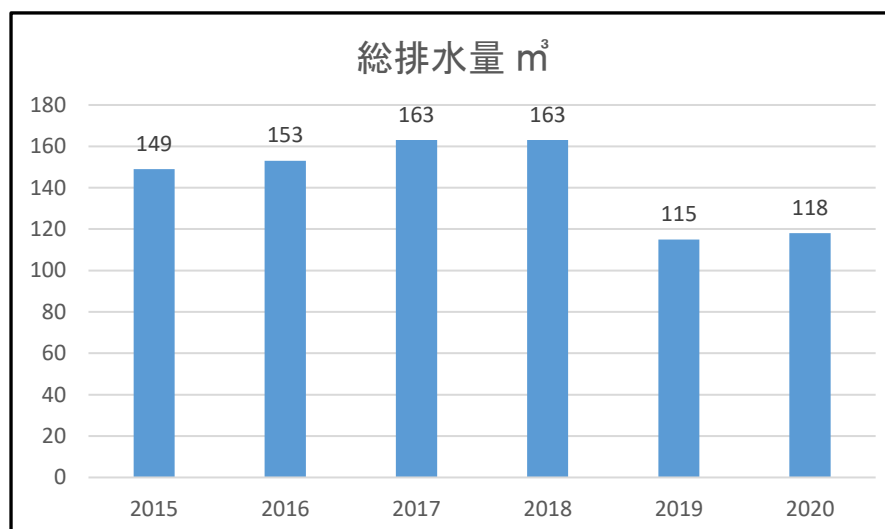
	取組項目	達成状況	評価と次年度の取組内容
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物再資源化率(基準年度より6%削減) 分別によるリサイクルの推進 リサイクルのトナーを利用 紙での保管を極力控えてパソコンに保存する。 コピ-用紙の裏紙利用	○	事務所の一般廃棄物の削減は、 社員の意識向上により目標達成できた。 資料などもメールデータでの送受信が多くなった。 次年度以降も継続していく。
	産業廃棄物再資源化率(基準年度より6%削減) 分別によるリサイクルの推進 転用可能な資材の活用 マニフェストをもとに産廃物の適正な処理をする。	○	社員の意識向上により目標達成できた。 次年度以降も継続していく。

・目標達成判定区分 ○: 目標達成率 100%以上 △: 90%以上 100%未満 ×: 90%未満



取組項目	達成状況	評価と次年度の取組内容
水使用量の削減(基準年度より6%削減) 節水コマの取付 洗車の回数を必要最小限に留める。 植木の水やりには活水器の排水を利用する。	○	節水便器の使用により水使用量が減った 次年度以降も継続して、水使用量のチェックを 欠かさないようにする。

・目標達成判定区分 ○: 目標達成率 100%以上 △: 90%以上 100%未満 ×: 90%未満



取組項目	達成 状況	評価と次年度の取組内容
グリーン再生製品・再生建設資機材の推進 環境ラベル表示製品を優先的に購入する。 再生建設資機材の使用に努める。	○	目標達成のため、社員が意識向上に努めている。 次年度以降も継続していく。
事務所及び 建設現場周辺の清掃 事務所前の道路の清掃 地域での環境活動に積極的に参加する。 現場廻りの清掃に努める。	○	社員の意識向上により清掃・美化活動は目標達成できた 次年度以降も継続していく。
施工時の環境配慮 工程管理表の有効活用 加工時間短縮の工夫・検証	○	目標達成のため、社員が意識向上に努めている。 次年度以降も継続していく。

・目標達成判定区分 ○: 目標達成率 100%以上 △: 90%以上 100%未満 ×: 90%未満

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無

・当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

法律名	要求事項	遵守判定	確認方法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (一般廃棄物の処理)	委託	○	業者の許可証及び契約書を確認済
	委託基準	○	"
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (産業廃棄物の処理)	委託	○	業者の許可証及び契約書を確認済
	排出者責任	○	マニフェストの確認
	産業廃棄物管理票の交付	○	マニフェストの確認
	産業廃棄物管理票の写しの保存期間	○	マニフェストの5年間保管
	保管基準	○	保管場所の確認
	建設業等を営む者の責務	○	"
	分別解体等 実施義務	○	"
	対象建設工事の届出に係る事項の説明等	○	契約書確認
	対象建設工事の請負契約に係る書面の記載事項	○	"
	再資源化等実施義務	○	業者に委託
	発注者への報告等	○	報告書発行及び保存
	下請負人に対する元請業者の指導	○	対応している
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	事業者及び使用者の責務	○	対応している
	使用の制限	○	"
	経過処置	○	"
使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	自動車の所有者の責務	○	対応している
	使用済自動車の引渡義務	○	"
	再資源化預託金等の預託義務	○	"
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	特定製品の管理者の責務	○	対応している
	回収依頼書、委託確認書の授受。	○	確認書発行及び保管
	引取証明書の授受。	○	"
	フロン類の放出禁止。	○	対応している
	業務用空調機の定期簡易点検	○	対応している
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	事業者及び消費者の責務	○	"
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	建設4品目のリサイクル推進	○	"

8.代表者による全体評価と見直しの結果

(1)評価

- ・エコアクション21に本格的に取り組む、環境経営システムを運用する中で、今までの事業活動に少しずつですが、変化が見受けられました。
- ・エコアクション21の活動意義・内容を社員全体が理解して取り組むことができているが、まだ改善出来る所は沢山あるので、社員一丸となり、積極的に取り組んでいきます。

(2)見直し結果

- ・おおむね満足出来る水準にあるが、まだ改善出来る所は沢山あるので、引き続き、次年度も努力する。